

どのような活動をしているのでしょうか？ 活動状況

ケアシステムの構築・調整

- ・療養指導室、看護相談室などの開設
- ・看護ケア外来システムの導入、運営支援
- ・療養支援、継続看護システム、退院支援システムの開発
- ・院内外チーム医療の推進/設立
- ・特定健診・保健指導システム導入

看護師/ケア提供者の教育・サポート

- ・院内研修のプログラム化（看護倫理、看護研究、看護理論、専門コース、フットケアなど）、研修の講師
- ・臨床実践能力向上のための教育プログラム立案/評価/修正
- ・キャリアラダーと評価ツールの作成
- ・看護を語る会の企画/開催、事例検討、カンファレンス
- ・看護研究支援、学生指導（基礎教育、大学院教育）
- ・メンタルヘルスサポート
- ・医療スタッフのコンサルテーションに対応

効果的ケアの提供

- ・困難な問題を抱えた患者・家族への介入/直接ケア/生活調整
- ・療養相談、病気の受容にかかわる支援、
- ・患者/家族の意思決定サポート、倫理調整
- ・退院支援/在宅療養支援
- ・看護実践の研究報告

どのような評価を得ているのでしょうか？

患者・家族

- 困った時に相談できる
- 相談に乗ってもらえて安心できる
- 気持ちが楽になった
- 相談室があってよかった
- 見てもらうと安心できる
- 命を助けてもらった
- 療養のアドバイスが得られる
- 患者にとって必要
- 自分を認められるようになった
- もっと早くに知りたかった

看護職

困難事例や調整に苦慮する患者・家族へのケアについて SOS を発信できる
 困ったり分からないときは聞けるので安心。
 研究や勉強をしたい時、システムを立ち上げる時など相談でき支援してくれるので心強い。CNS が関わり成果が得られた時のことを思い出し、同じようにやってみようと思える。

他職種

医師から...治療効果が現れ難い患者、精神的に落ち込んでいる患者、調整が困難な患者・家族への対応を依頼できる。困った時は頼める。
 適切な意見を言ってくれる。
 きちんと対応してくれ、安心して任せられる。
 外来診療で補えない部分をサポートしてく

以上のように、慢性疾患看護専門看護師の活動は、臨床実践能力、看護の質の向上、患者・家族の QOL 向上に貢献しています。また、看護職のモチベーションをサポートするとともに、在院日数短縮化や診療報酬獲得（在宅療養指導料、フットケア加算など）にも寄与し、病院経営への貢献にもつながっています。